

## 生物多様性さっぽろビジョンの進行管理

生物多様性さっぽろビジョン(P2参照)では、推進する施策として「理解する」、「協働する」、「継承する」及び「活用する」の4つの柱を立てており、柱ごとに成果指標を定めて、進行管理を行っています。

### 指標及び進捗状況

施策の柱	指標	基準値 (平成23年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値 (平成32年度)
理解する	生物多様性の理解度 (意味を知っている人の割合)	33.1%	28.8%	36.6%	33.7%	34.8%	28.6%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合	市民: 5.0% 事業者: 40.4%	市民: 4.4% 事業者: 44.4%	市民: — 事業者: 64.3%	市民: — 事業者: 66.6%	市民: — 事業者: 64.5%	市民: 3.1% 事業者: 58.9%	市民: 10% 事業者: 60% ※1
継承する	主な生息・生育地における指標種の生息状況 <sup>※2</sup>	—	—	—	—	—	—	生息し続けていること、又は増えていること
活用する	自然と積極的に触れ合っている市民の割合	24.2%	19.5%	—	—	—	27.0%	35%
	市民の地産地消や環境配慮商品の利用促進	地産地消: 65.7% 環境配慮商品: 27.4%	地産地消: 59.3% 環境配慮商品: 25.0%	—	—	—	地産地消: 60.7% 環境配慮商品: 18.1%	地産地消: 75% 環境配慮商品: 50%
	事業者の原材料調達時の配慮の促進	30.0%	57.5%	69.4%	44.7%	50.0%	59.4%	50%

※1「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)については、平成27年度の目標値。

※2「主な生息・生育地における指標種の生息状況」(継承する)については、今後、指標種を選定し、モニタリング調査により生息状況を把握する予定。

### 評価と今後の取組

平成29年度は、「理解する」取組として、新たに市内の小学生から読み札を募集して「生き物かるた」を作成しました。「生き物かるた」は、市内の小学校や児童会館等に配布したほか、かるた大会の開催をはじめ、各種普及啓発イベントでも活用しました。また、有識者による外来種問題や希少種保全をテーマとした基調講演、パネルディスカッション等をプログラムとした生物多様性フォーラムも開催し、多くの市民が参加しました。

「協働する」取組としては、市民参加型の生き物調査「さっぽろ生き物さがし」を実施し、「指標種」の生息・生育情報の収集に努めました。また、「継承する」取組としては、地域住民が身近な自然や環境について考えるきっかけとなるようなパネル展やイベント、街路樹調査、外来種駆除体験会等を開催しました。

成果指標については、市民アンケートを行った結果、「生物多様性の理解度」(理解する)は28.6%と前年度よりも低下していましたが、「自然と積極的に触れ合っている割合」(活用する)や「地産地消」(活用する)については、平成25年度と比べ上昇していました。また、企業アンケートを行った結果、「生物多様性の保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)は、平成28年度と比べやや減少し、目標値を下回りましたが、「事業者の原材料調達時の配慮の割合」(活用する)については、上昇し、平成28年度に引き続き目標値である50%を越えました。

「活用する」については、市民、事業者共に増加傾向が見られた一方、「理解する」については、過年度と同様に目標値を下回っていることから、今後は、多くの市民が生物多様性の理解を深める機会の創出、新たに構築した「札幌市動植物データベース」の活用等、生物多様性をよりわかりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを強化していきます。また、生物多様性の保全・持続可能な利用に向けた実践行動として、外来種対策や希少種の保全の取組もあわせて行っていきます。



●編集・発行 平成30年(2018年)12月

札幌市環境局環境都市推進部環境管理担当課  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階  
TEL 011-211-2879 FAX 011-218-5108



SAPPORO



さっぽろ市  
01-J02-18-2133  
30-1-158



札幌市 生物多様性  検索 <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/>

〈平成30年度〉

# 札幌市 生物多様性 レポート

Biodiversity Report in Sapporo-city



### 目次

生物多様性さっぽろビジョンの概要	2
札幌市の取組	3
札幌市の取組一覧	9
コラム～生物多様性の基礎知識～	15
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理	16

札幌市

札幌市は、平成24年度に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、今、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっている生物多様性を守るため、さまざまな取組を進めています。

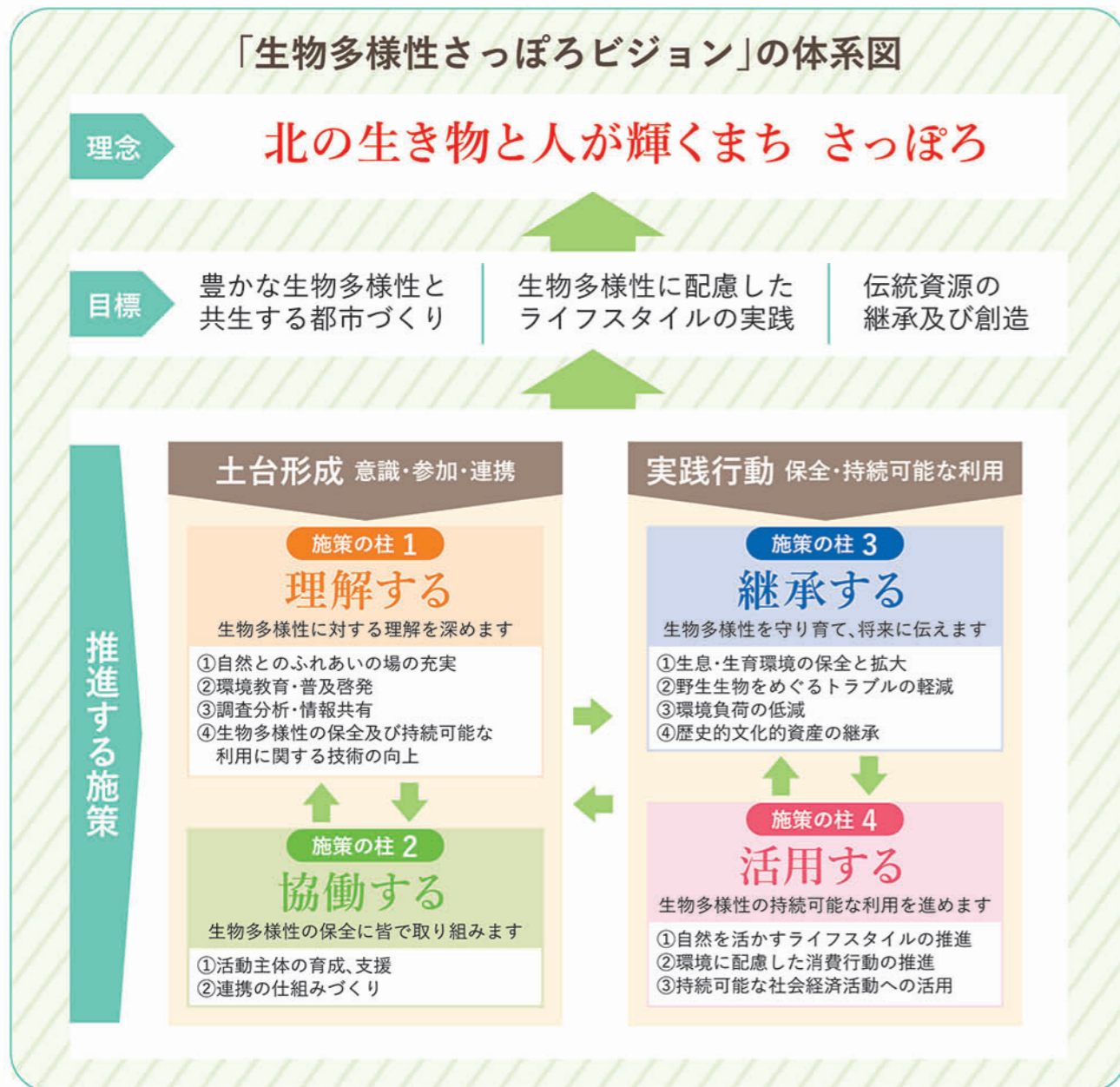
札幌市生物多様性レポートでは、平成29年度の取組について報告します。

## 生物多様性さっぽろビジョンの概要

私たちが暮らす札幌市では、これまで6,000種以上の動植物が記録されていますが、都市化に伴う生息・生育環境の縮小などにより、生物多様性が失われることが心配されています。

そのため、札幌市では生物多様性の保全に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち さっぽろ」の理念のもと、市民やNPO、事業者などのあらゆる主体とともに、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直しを進めていきます。



## 札幌市の取組

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、生物多様性に対する理解の促進及び保全に向けた行動の実践を推進するため、さまざまな取組を進めています。

自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

### 生物多様性の保全

生物多様性推進事業（環境局 環境管理担当課 TEL 011-211-2879）

#### まちなか生き物活動



「まちなか生き物活動」は、生物多様性に対する市民の関心と理解を深めるとともに、多様な主体の行動や連携の促進を図ることを目的とし、特にまちなかで生物多様性の保全に関する活動を行うもので、NPO団体や企業などから広く企画提案を募集し、優秀な提案者に業務を委託し、実施しました。

平成29年度は、「身近でいいの？アメリカザリガニ～札幌市街地の外来種と生き物の飼育を考える～」と「街路樹マッピング」を実施しました。

「身近でいいの？アメリカザリガニ～札幌市街地の外来種と生き物の飼育を考える～」は、外来種でありながら身近な生き物として認識されつつあるアメリカザリガニを通して、生き物の飼育や札幌市内の外来種問題について広く普及啓発を行うもので、市民参加型のアメリカザリガニ捕獲・観察会、生き物の飼育について考えるワークショップ、活動報告会を実施し、延べ158名が参加しました。捕獲・観察会で捕獲したアメリカザリガニは、円山動物園で開催された夏休みの特別企画展「もう増やさないで！北海道の外来生物展」で展示し、外来種問題についての普及啓発に活用しました。

「街路樹マッピング」は、身近な緑である街路樹を調べ、何種類の街路樹がどれくらいあるか、また、他の生き物に対してどんな役割を果たしているかを知ることによって、生物多様性に興味を持ってもらうことを目的に実施し、延べ81名が参加しました。イベント当日は、専門家の指導のもと街路樹の調査やオリジナル植物図鑑の作成を行いました。



<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/machinaka.html>

さっぽろ生き物さがし2017



札幌市では、平成29年7月15日～10月9日にかけて、「さっぽろ生き物さがし2017」を行いました。「さっぽろ生き物さがし2017」は、札幌らしい自然環境に生息・生育する代表的な動植物である「指標種」のうち、カモ、トンボ、バッタ、マルハナバチ、草の実の5つのグループについて、市内の生息・生育状況を調べるものです。参加した皆さんには、確認した生き物について、見つけた場所や日時を報告していただきました。

調査には、66チーム331名が参加し、総データ数は1,464件になりました。調査した地区数は171地区(1km四方の単位)で、札幌市の約14%にあたります。

調査によって得られた結果は、対象の生き物ごとに、見つけた環境や季節について整理し、参加者の皆さんから寄せられた写真とともにニュースレター形式でまとめました。また、結果をもとに作成した「分布マップ」や、参加者が撮影した写真を展示するパネル展も開催しました。



<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/29chosa.html>

さっぽろ生き物さがしプロジェクトについて

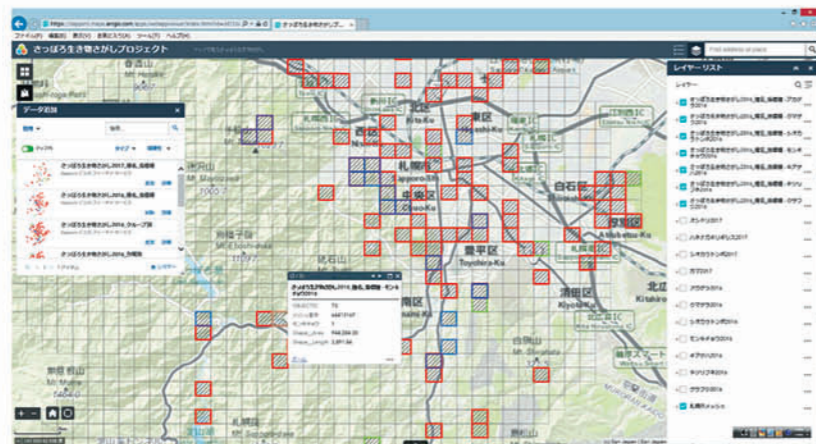
「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」は、平成25年度から開催している市民参加型の生き物調査で、平成28年度からは、森林や草地、水辺等の自然環境の指標となる生き物である「指標種」を調査対象としています。参加者の皆さんから寄せられた結果については、毎年蓄積し、市内の自然環境の変化の把握に活用しています。

平成29年度には、さっぽろ生き物さがしプロジェクトの結果を含めた市内の動植物の生息・生育情報と文献情報を管理する「札幌市動植物データベース」を構築しました。また、あわせてWebマップアプリケーションも構築し、さっぽろ生き物さがし2016、2017の結果を公表しています。平成30年度以降の「さっぽろ生き物さがし」では、メールやFAXに加えて、ホームページからの結果の報告が可能になります。

今後は、さっぽろ生き物さがしの結果だけではなく、その他の生き物の生息・生育情報についても随時公開する予定です。

マップで見るさっぽろ生き物さがしプロジェクト

<https://sapporo.maps.arcgis.com/apps/webappviewer/index.html?id=dd711eea1d4a4c1e893be91f9bf8a6e1>



▲マップで見るさっぽろ生き物さがしプロジェクト

生き物かるた



平成29年9月1日～10月31日にかけて、市内の小学生から生き物をテーマとしたかるたの読み札を募集し、1,607作品の応募がありました。その中から最優秀賞1作品、優秀賞2作品、生物多様性さっぽろネットワーク賞4作品を含めた44作品を選出し、「生き物かるた」を作成しました。完成した生き物かるたは、市内の各小学校、幼稚園、児童会館等へ配布を行った他、かるたを利用した作品展やかるた大会も開催しました。

生き物かるたは、下記アドレスからもダウンロードできます。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/karuta.html>



生物多様性さっぽろネットワーク賞

※受賞者の学校名は平成29年度時点

生き物かるた絵札一覧



## 生物多様性パネル展

理解 協働 継承

生物多様性についての理解促進を図るため、市内各所で実施される環境関連イベントにて、パネル展示やリーフレットの配布を行いました。

平成29年5月	“国際生物多様性の日”生物多様性パネル展 (白石区まちづくりイベント広場)
6月	第21回北の都札幌ツーデーウォーク(中島公園) 水道フェスタ2017(札幌市水道記念館)
8月	環境広場さっぽろ2017(アクセスサッポロ)
9月	人とペットの暮らし広場2017(北海道庁前庭) こまおか秋まつり(札幌市保養センター駒岡)
12月	さっぽろ子ども環境コンテスト2017(札幌エルプラザ) 子育て未来フェスティバル(札幌コンベンションセンター)
平成30年3月	生き物つながりパネル展(札幌駅前通地下歩行空間)



「国際生物多様性の日」生物多様性パネル展



▲人とペットの暮らし広場2017



▲第21回北の都札幌ツーデーウォーク

## 生物多様性フォーラム

理解 協働

生物多様性を広く普及する取組の一環として、平成30年3月11日に札幌市円山動物園にて、「生物多様性フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、外来種問題について五箇公一氏(国立研究開発法人国立環境研究所)、希少種保全について齊藤慶輔氏(猛禽類医学研究所)にご講演いただいた後、吉田剛司氏(酪農学園大学)をコーディネーターとして、市民参加とデータベースの活用をテーマにパネルディスカッションを行いました。

また、あわせて、生き物かるたの読み札表彰式と生き物かるたを使ったかるた大会を実施しました。



「生物多様性フォーラム」ポスター



▲「生物多様性フォーラム」パネルディスカッションの様子

## 生物多様性リーフレット等の紹介

前ページで紹介した「生き物かるた」以外にも、「職員が考えた生物多様性かるた」や生物多様性について解説したリーフレット等、下記アドレスからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

### ①生き物かるた・職員が考えた生物多様性かるた

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/karuta.html>

### ②今、できることから始めよう!!

～生物多様性さっぽろ実践ハンドブック～  
生物多様性を守るために今すぐできる行動をまとめたハンドブック



### ③札幌市版レッドリスト2016ガイドブック

札幌市に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物についてのリスト



### ④まもろう札幌の仲間たち。

「札幌市版レッドリスト2016」について、子ども向けにわかりやすく解説したハンドブック

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/pamphlet.html>

## 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける19施設(平成30年8月現在)及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

平成29年度は、16の施設を巡る「いきものつながりクイズラリー2017」を実施し、294名が参加しました。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network.html>



「いきものつながりクイズラリー」ポスター

## 活動拠点

札幌市水道記念館、札幌市円山動物園、札幌市下水道科学館、札幌市環境プラザ、札幌市百合が原緑のセンター、サッポロさとらんど、サンピアザ水族館、北海道博物館、札幌市豊平公園緑のセンター、札幌市博物館活動センター、札幌市平岡樹芸センター、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市保養センター駒岡、札幌市青少年山の家、札幌市滝野自然学園、札幌市北方自然教育園、サッポロピリカコタン、札幌市定山溪自然の村、札幌市動物管理センター

## 活動拠点の紹介

### ●札幌市下水道科学館

札幌市下水道科学館は、普段見ることのできない下水道の世界や下水道に関わる仕事を体験し、下水道の仕組みや下水道が水環境の保全に果たす役割について、楽しく学ぶことができる施設です。平成30年3月には、展示内容がリニューアルされ、下水道の世界や仕事を体験する11種類の体験コーナーや、CGを活用したリアルな川の流れや川に生息する魚類・鳥類等が飛び出す映像体験など、体験型中心の展示となっています。

また、隣接する創成川水再生プラザ(下水処理場)では、下水処理の過程を見学することもできます。

<http://www.sapporo-src.com/kagakukan/>



▲札幌市下水道科学館

### ●札幌市百合が原緑のセンター

札幌市百合が原緑のセンターは、百合が原公園にある施設として都市緑化の普及を行っています。緑の相談や温室での植物展示会・講習会等の実施により植物情報を発信しています。また、隣接するロックガーデンは、本州では栽培が困難な高山植物を植栽し、園内では植物に関連したオリエンテーリングや園内ガイド等も実施しています。

なお、百合が原公園では、公園管理で発生する様々な植物の廃材を主な材料とした堆肥やチップの製造、施用を行っており、環境への負荷を抑えた公園管理に取り組んでいます。

<http://yuri-park.jp/>



▲百合が原緑のセンター



▲百合が原緑のセンター